

国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
研究部門評価委員会 評価資料
(令和3年・令和4年)

目 次

研究所概要 (研究所長：梅澤 明弘)	(01)
研究所業績 (副 所 長：深見 真紀)	(01)
概要資料	
資料 (1) 研究所組織図・人事異動	(03)
資料 (2) セミナー開催状況	(13)

【研究部活動報告】

01. 小児血液・腫瘍研究部	(部長：清河 信敬)	001
02. 分子内分泌研究部	(部長：深見 真紀)	015
03. 免疫アレルギー・感染研究部	(部長：松本 健治)	039
04. 成育遺伝研究部	(部長：小野寺 雅史)	067
05. ゲノム医療研究部	(部長：要 匡)	083
06. システム発生・再生医学研究部	(部長：高田 修治)	104
07. 薬剤治療研究部	(室長：中村 和昭)	117
08. 周産期病態研究部	(部長：秦 健一郎/梅澤 明弘 (併任))	130
09. 社会医学研究部	(部長：森崎 菜穂)	153
10. 政策科学研究部	(部長：竹原 健二)	186
11. 再生医療センター	(センター長：梅澤 明弘)	204
12. エコチル調査研究部	(代表：大矢 幸弘)	226
13. 実験動物管理室	(研究員：津村 秀樹)	246
14. ラジオアイソトープ管理室/移植免疫研究室	(室長：梨井 康)	252
15. マスクリーニング研究室	(室長：但馬 剛)	261
16. 小児慢性特定疾病情報室	(室長：盛一 享徳)	279
17. 高度先進医療研究室	(室長：今留 謙一)	288
18. 好酸球性消化管疾患研究室	(室長：野村 伊知郎)	300
19. 共同研究管理室	(室長：黒木 陽子)	316

1. 研究所ミッション

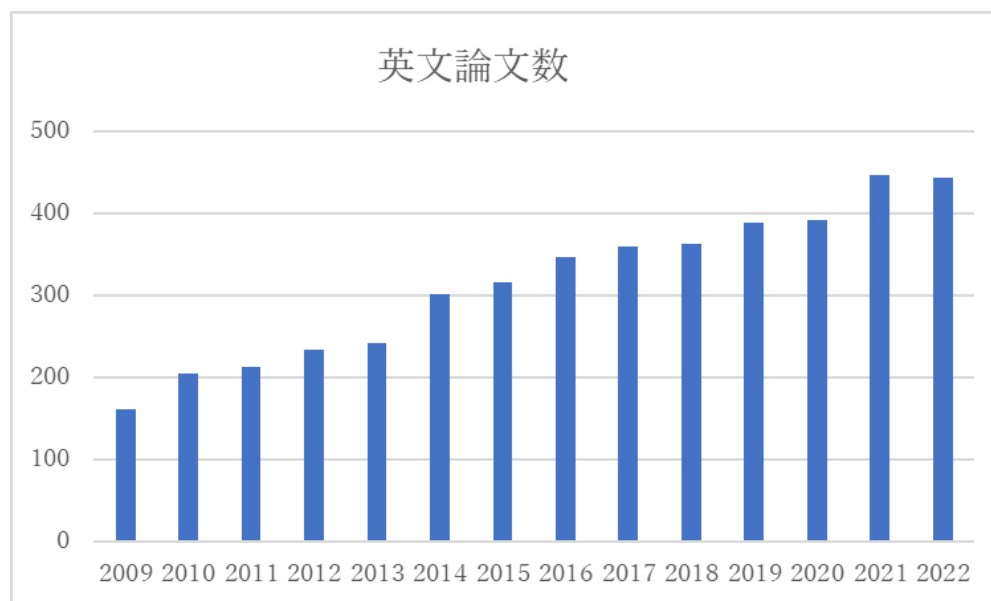
国立成育医療研究センターは、受精・妊娠に始まり、胎児期、新生児期、乳児期、学童期、思春期を経て次世代を育成する成人期へと至るライフサイクルに生じる疾患（成育疾患）に関する医療（成育医療）と研究を推進することを目的に、2002（平成 14）年に「国立成育医療センター」として設立された。その後、平成 22 年に独立行政法人国立成育医療研究センター、平成 27 年に国立研究開発法人国立成育医療研究センターとなった。

国立成育医療研究センター研究所では、病院との緊密な連携のもとに、成育医療における実験医学から社会医学に至るまで広範な分野を対象とした先進的な研究を推進している。また、最先端の遺伝子解析技術を駆使した難病解明プロジェクトの拠点や、小児がん中央診断の拠点として全国の医療施設に最先端の医療を提供するとともに、それらを通じて新たな病因遺伝子や発がんに関わる遺伝子を発見している。社会医学・疫学では、小児をとりまく社会環境要因が健康に及ぼす影響を分析すると共に、様々な国際共同研究を行っている。さらにわたしたちは、厚生労働省をはじめとする各省庁からの要請に応じて、母子保健、ゲノム医療実現推進、ヒト胚研究、再生医療、遺伝子治療、新生児マススクリーニングなど、日本の様々な健康医療政策に関する提言を行っている。

2. 研究業績

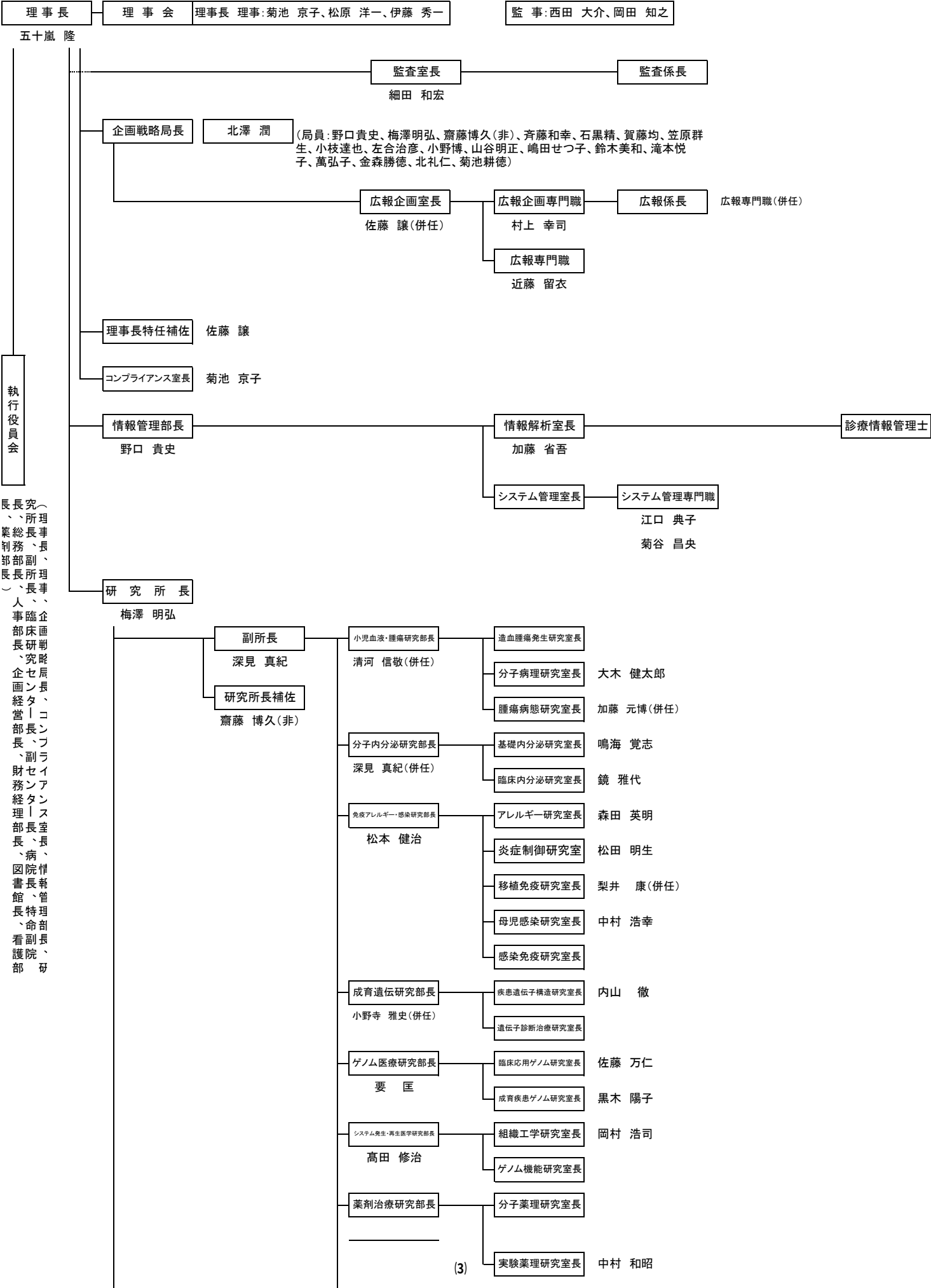
2 年間に於いて、再生医療、遺伝性疾患の分子基盤、アレルギー研究、ゲノム編集、遺伝子治療、データサイエンスを含む多くの分野で特筆すべき成果が誕生した。また、コロナウイルス感染症が子どものこころに与える影響や男性の育児に関する研究成果を発表し、社会に大きなインパクトを与えた。

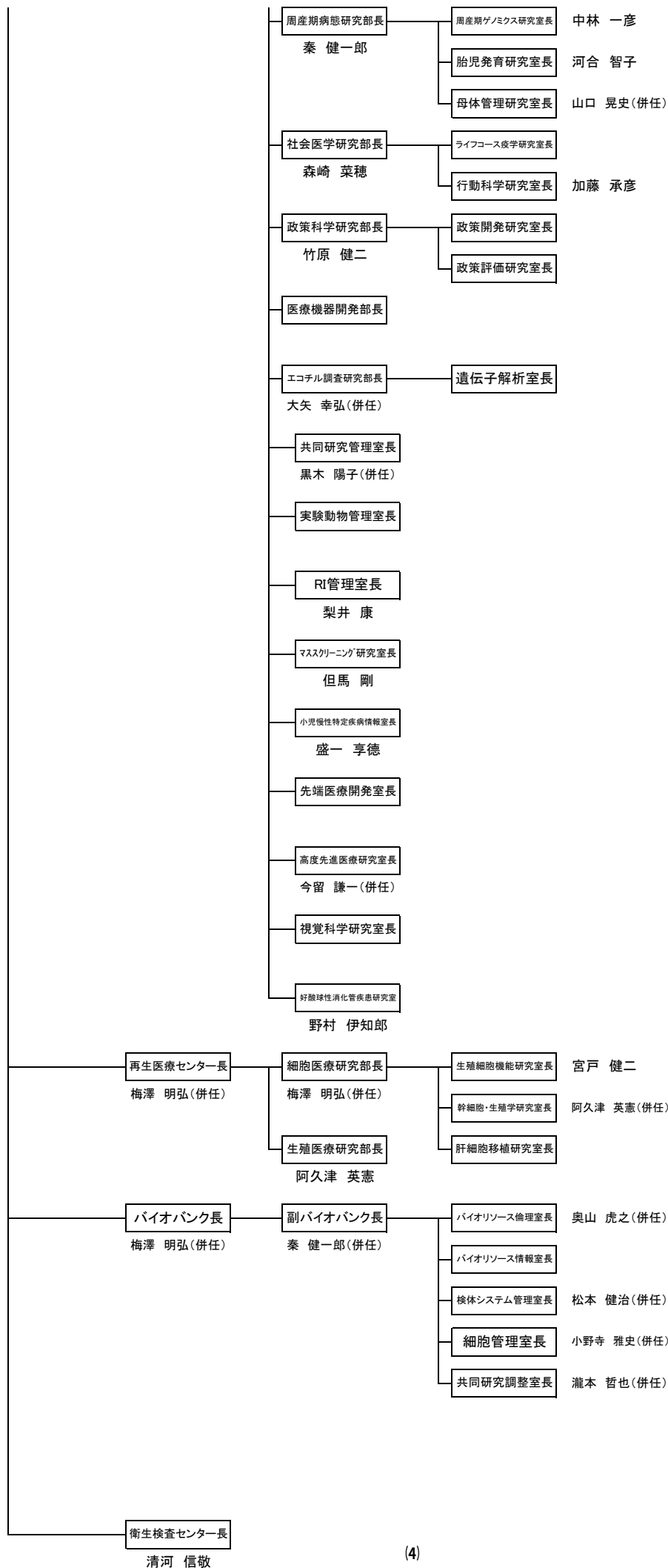
下記に国立成育医療研究センターの英文論文数の推移を示す。Web of Science のデータベースを用いて 2009 年からの英文論文（学会抄録、訂正文を除く）のうち、著者所属に国立成育医療研究センターが含まれるものをグラフ化したものである。研究所と病院の共同研究成果が多いため、研究所単独の論文数を切り分けて検索することはできないが、被引用回数上位の論文の多くは研究所所属著者であった。



【組織図・人事異動】

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図



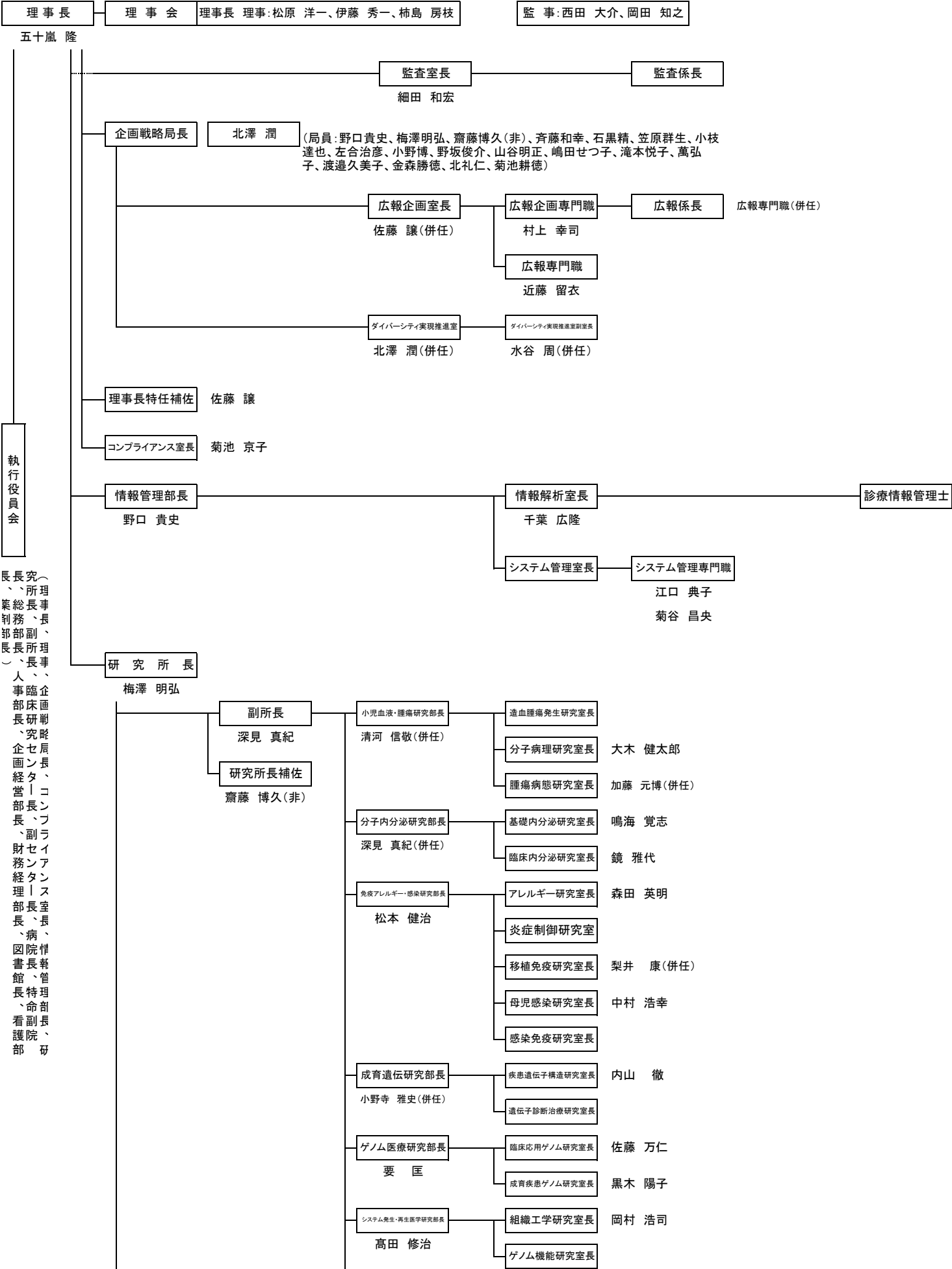


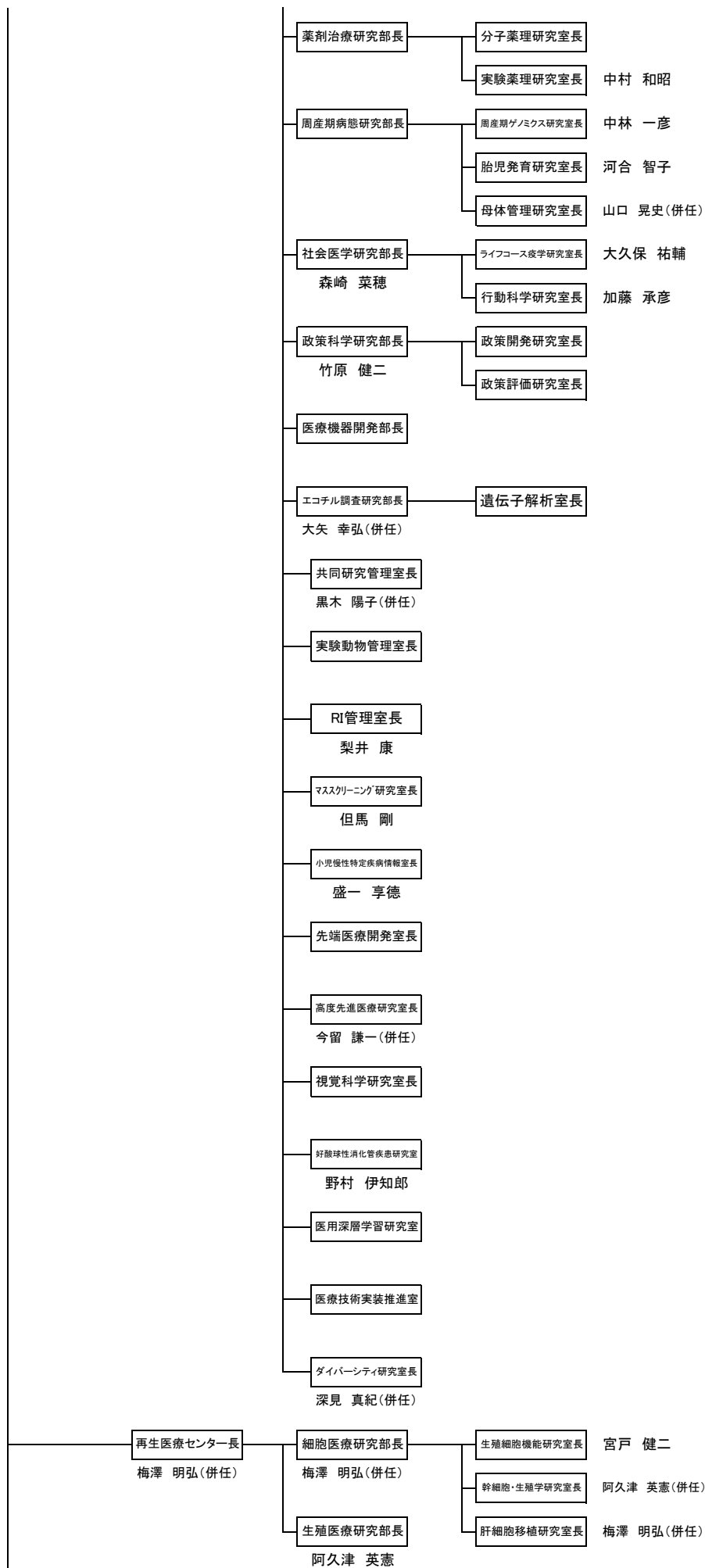
精度管理責任者

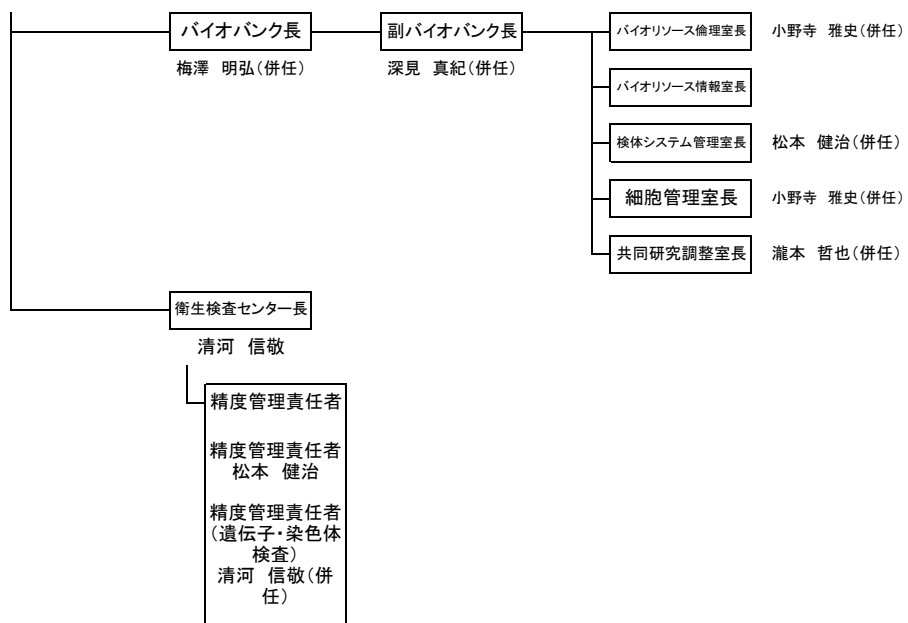
精度管理責任者
松本 健治

精度管理責任者
(遺伝子・染色体
検査)
清河 信敬(併
任)

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター組織図







人事異動(令和3年・令和4年)

○常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
R3.1.1	採用	専門職	DA SILVA LOPES TIAGO JOSE	再生医療センター細胞医療研究部
R3.3.31	辞職	社会医学研究部長	浦山 ケビン	研究所 社会医学研究部
R3.3.31	辞職	総合アレルギー科医師	宮地 裕美子	エコチル調査研究部
R3.4.1	育休復帰	医師研究員	宮地 裕美子	エコチル調査研究部
R3.4.1	採用	医師研究員	宮地 裕美子	エコチル調査研究部
R3.4.1	採用	医師研究員	齋藤 麻耶子	エコチル調査研究部
R3.4.1	昇任	副所長	梅澤 明弘	副所長 → 研究所長
R3.4.1	昇任	政策開発研究室長	竹原 健二	政策開発研究室長 → 政策科学研究部長
R3.4.1	昇任	ライフコース疫学研究室長	森崎 菜穂	ライフコース疫学研究室長 → 社会医学研究部長
R3.4.1	併任	副所長	梅澤 明弘	併任: バイオバンク長
R3.4.1	任期更新	マスクリーニング研究室長	但馬 剛	マスクリーニング研究室
R3.4.1	任期更新	基礎内分泌研究室長	鳴海 覚志	分子内分泌研究部基礎内分泌研究室
R3.5.1	任期更新	胎児発育研究室長	河合 智子	周産期病態研究部胎児発育研究室
R3.6.1	昇任	分子内分泌研究部長	深見 真紀	分子内分泌研究部長 → 副所長
R3.6.1	併任	分子内分泌研究部長	深見 真紀	併任: 分子内分泌研究部長
R3.7.16	採用	研究員	熊坂 夏彦	エコチル調査研究部遺伝子解析室
R3.7.31	採用	付	鈴木 江莉奈	研究所
R3.7.31	採用	付	網代 典子	研究所
R3.7.31	転出	付	鈴木 江莉奈	研究所
R3.7.31	転出	付	網代 典子	研究所
R3.9.1	任期更新	アレルギー研究室長	森田 英明	免疫アレルギー・感染研究部
R3.10.1	採用	研究員	松原 圭子	共同研究管理室
R3.10.1	併任	医師研究員	宮地 裕美子	併任: アレルギーセンター総合アレルギー科
R3.10.1	併任	医師研究員	齋藤 麻耶子	併任: アレルギーセンター総合アレルギー科
R3.10.1	任期更新	システム発生・再生医学研究部長	高田 修治	システム発生・再生医学研究部
R3.12.31	採用	研究員	中西 梨奈	生殖医療研究部
R3.12.31	転出	研究員	中西 梨奈	生殖医療研究部
R4.1.1	転入	成育疾患ゲノム研究室長	黒木 陽子	ゲノム医療研究部成育疾患ゲノム研究室
R4.1.1	併任	成育疾患ゲノム研究室長	黒木 陽子	併任: 共同研究管理室長
R4.1.31	採用	付	磯 まなみ	研究所
R4.1.31	転出	付	磯 まなみ	研究所
R4.2.1	採用	ライフコース疫学研究室長	大久保 祐輔	社会医学研究部ライフコース疫学研究室
R4.3.31	辞職	医師研究員	齋藤 麻耶子	エコチル調査研究部
R4.3.31	採用	付	横溝 陵	研究所付
R4.3.31	転出	付	横溝 陵	研究所付
R4.3.31	任期満了	炎症制御研究室長	松田 明生	免疫アレルギー・感染研究部
R4.3.31	辞職	周産期病態研究部長	秦 健一郎	周産期病態研究部
R4.3.31	採用	付	磯野 渉	研究所付

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
R4.3.31	転出	付	磯野 渉	研究所付
R4.4.1	採用	医師研究員	島田 真実	エコチル調査研究部
R4.4.1	併任	医師研究員	島田 真実	併任:アレルギーセンター総合アレルギー科
R4.4.1	併任	分子内内分泌研究部長	深見 真紀	併任:副バイオバンク長
R4.4.1	転入	付	鈴木 江莉奈	研究所
R4.4.1	辞職	付	鈴木 江莉奈	研究所
R4.4.1	採用	専門職	渡部 聡朗	再生医療センター細胞医療研究部
R4.4.1	併任	研究所長	梅澤 明弘	併任:こどもシンクタンク所長、戦略支援室長
R4.4.1	併任	政策開発研究部長	竹原 健二	併任:こどもシンクタンク戦略支援室副戦略支援室長
R4.4.1	併任	社会医学研究部長	森崎 菜穂	併任:こどもシンクタンク戦略支援室副戦略支援室長
R4.5.1	採用	研究員	須藤 茉衣子	研究所政策科学研究部
R4.5.1	採用	医師研究員	石塚 一枝	研究所社会医学研究部
R4.5.1	併任	研究員	須藤 茉衣子	併任:こどもシンクタンク戦略支援室
R4.5.1	併任	医師研究員	石塚 一枝	併任:こどもシンクタンク戦略支援室
R4.6.1	採用	研究員	PIEDVACHE AURELIE BRIGITTE	研究所社会医学研究部
R4.6.1	併任	副所長	深見 真紀	併任:ダイバーシティ研究室長
R4.6.1	併任	生殖細胞機能研究室長	宮戸 健二	併任:ダイバーシティ研究室
R4.6.1	併任	成育疾患ゲノム研究室長	黒木 陽子	併任:ダイバーシティ研究室
R4.6.1	併任	研究員	松原 圭子	併任:ダイバーシティ研究室
R4.7.1	任期更新	臨床応用ゲノム研究室長	佐藤 万仁	ゲノム医療研究部臨床応用ゲノム研究室
R4.8.1	任期更新	組織工学研究室長	岡村 浩司	システム発生・再生医学研究部組織工学研究室
R4.9.1	併任	副所長	深見 真紀	併任:遺伝診療センター副センター長
R4.10.1	併任	ゲノム医療研究部長	要 匡	併任:病院アレルギーセンター遺伝情報評価支援室長
R4.10.1	併任	ゲノム医療研究部長	要 匡	併任:遺伝診療センター
R4.10.2	育児休業	医師研究員	島田 真実	エコチル調査研究部
R4.12.1	併任	研究所長	梅澤 明弘	併任:再生医療センター細胞医療研究部肝細胞移植研究室長

人事異動(令和3年・令和4年)

○非常勤職員

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
R3.1.31	任期満了	研究員	BALOGUN OLUKUNMI OMOBOLANLE	政策科学研究部
R3.2.1	採用	研究員	BALOGUN OLUKUNMI OMOBOLANLE	政策科学研究部
R3.3.30	育児休業	研究員	寺尾 美穂	システム発生・再生医学研究部
R3.3.31	定年退職	研究員	勝又 規行	分子内分泌研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	和泉澤 千恵	生命倫理研究室
R3.3.31	任期満了	研究員	上野 瞳	小児血液・腫瘍研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	羊 利敏	エコチル調査研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	石塚 一枝	社会医学研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	服部 淳	分子内分泌研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	松原 圭子	分子内分泌研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	岡坂 昌子	社会医学研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	三瓶 舞紀子	社会医学研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	大塚 美耶子	政策科学研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	大倉 隆司	再生医療センター細胞医療研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	小野寺 成実	再生医療センター細胞医療研究部
R3.3.31	任期満了	研究員	田中 卓	視覚科学研究室
R3.4.1	採用	研究員	中尾 佳奈子	分子内分泌研究部
R3.4.1	採用	研究員	康 宇鎮	再生医療センター細胞医療研究部生殖機能研究室
R3.4.1	採用	研究員	上野 瞳	小児血液・腫瘍研究部
R3.4.1	採用	研究員	キタ 幸子	政策科学研究部
R3.4.1	採用	研究員	羊 利敏	エコチル調査研究部
R3.4.1	採用	研究員	石塚 一枝	社会医学研究部
R3.4.1	採用	研究員	服部 淳	分子内分泌研究部
R3.4.1	採用	研究員	松原 圭子	分子内分泌研究部
R3.5.1	採用	研究員	楠田 理奈	好酸球性消化管疾患研究室
R3.5.1	配置換	研究員	上野 瞳	小児血液・腫瘍研究部
R3.6.17	育児休業	研究員	青砥 早希	周産期病態研究部
R3.8.1	採用	研究員	大山 賢二	再生医療センター細胞医療研究部
R3.8.1	配置換	上級研究員	松原 圭子	分子内分泌研究部
R3.8.15	辞職	研究員	半谷 まゆみ	社会医学研究部
R3.9.1	育児休業	研究員	寺尾 美穂	システム発生・再生医学研究部
R3.9.1	採用	研究員	近藤 天之	社会医学研究部
R3.9.30	育休復帰	研究員	寺尾 美穂	システム発生・再生医学研究部
R3.9.30	辞職	上級研究員	松原 圭子	分子内分泌研究部
R3.10.1	育休復帰	研究員	青砥 早希	周産期病態研究部
R3.11.1	採用	研究員	榎並 公平	社会医学研究部
R3.11.16	採用	研究員	前田 明子	政策科学研究部
R3.12.30	辞職	研究員	中西 梨奈	生殖医療研究部

発令年月日	事由	職名	氏名	部署・現職名等
R4.1.30	辞職	研究員	磯 まなみ	薬剤治療研究部
R4.1.31	辞職	研究員	折茂 圭介	免疫アレルギー・感染研究部
R4.2.1	採用	研究員	本村 健一郎	免疫アレルギー・感染研究部
R4.3.31	任期満了	特任研究員	福井 由宇子	分子内分泌研究部
R4.3.31	任期満了	研究員	田所 恵子	共同研究管理室
R4.3.31	任期満了	研究員	キタ 幸子	政策科学研究部
R4.3.31	任期満了	研究員	小西 瑞穂	研究所
R4.3.31	任期満了	上級研究員	宮戸 真美	分子内分泌研究部
R4.3.31	任期満了	研究員	杉江 真以子	免疫アレルギー・感染研究部
R4.3.31	辞職	上級研究員	菅原 亨	細胞医療研究部
R4.4.1	採用	研究員	帯包 エリカ	社会医学研究部
R4.4.1	採用	研究員	福井 由宇子	分子内分泌研究部
R4.4.1	採用	研究員	飯田 貴也	ゲノム医療研究部
R4.4.30	辞職	研究員	石塚 一枝	研究所社会医学研究部
R4.4.30	辞職	研究員	須藤 茉衣子	研究所政策科学研究部
R4.5.1	配置換	研究員	福井 由宇子	分子内分泌研究部
R4.5.11	育児休業	研究員	寺尾 美穂	研究所システム発生・再生医学研究部
R4.5.31	辞職	研究員	Aurelie Piedvache	社会医学研究部
R4.6.1	併任	研究員	辻 敦美	併任:ダイバーシティ研究室
R4.6.1	併任	研究員	服部 淳	併任:ダイバーシティ研究室
R4.6.30	辞職	研究員	康 宇鎮	再生医療センター細胞医療研究部生殖細胞機能研究室
R4.7.16	採用	研究員	田代 明弓	再生医療センター細胞医療研究部
R4.7.31	辞職	研究員	近藤 天之	社会医学研究部
R4.8.23	育児休業	研究員	三浦 茜	成育遺伝研究部
R4.9.1	育児休業	研究員	寺尾 美穂	システム発生・再生医学研究部
R4.9.30	任期満了	研究員	相澤 和子	薬剤治療研究部
R4.10.31	辞職	研究員	町田 正和	再生医療センター細胞医療研究部
R4.12.31	辞職	研究員	櫻木 小百合	免疫アレルギー・感染研究部母児感染研究室

【セミナー開催状況・その他】

セミナー開催状況(2021-2022 年)

【定例セミナー】

1. 日 時:令和 3 年 1 月 13 日(水) Teams によるオンライン開催
演 者: 進導 美幸(実験動物管理室 研究員)
演 題: パラログを持たず種特異的インプリンティングを受ける機能未知遺伝子 *Impact* の機能解析
2. 日 時:令和 3 年 1 月 18 日(月) Teams によるオンライン開催
演者 1: 岡崎 有香(周産期病態研究部 研究員)
演題 1: ステロイドの羊膜脆弱化作用に関する検討
ステロイドは羊膜の透過性を亢進し前期破水のリスクを上昇する?
演者 2: 伊東 紀子(周産期病態研究部 研究員)
演題 2: 母体血中の胎児有核赤血球細胞を標的とした出生前遺伝学的検査法の開発
3. 日 時:令和 3 年 1 月 20 日(水) Teams によるオンライン開催
演者 1: 西里 美菜保(エコチル調査研究部 研究員)
演題 1: エコチル調査における子ども(2 歳時点)の発達の状況について
演者 2: 目澤 秀俊(エコチル調査研究部 チームリーダー)
演題 2: 環境暴露による疾病負担の算定 ~エコチル調査結果の政策への応用に向けて~
4. 日 時:令和 3 年 1 月 21 日(木) Teams によるオンライン開催
演 者: 野村 伊知郎(好酸球性消化管疾患研究室 室長、アレルギーセンター 併任医師)
演 題: 消化管アレルギー、好酸球性消化管疾患の新知見
5. 日 時:令和 3 年 6 月 10 日(木) Teams によるオンライン開催
演者 1: 今留 謙一(高度先進医療研究室 室長、高度感染症診断部統括部長 併任医師)
演題 1: EB ウイルス(EBV)のワクチン開発と SARS-CoV2 に対する新規治療薬の開発
演者 2: 山田 全毅(高度感染症診断部 医長)
演題 2: 小児造血幹細胞移植レシピエントにみる日和見ウイルス感染症の疫学
6. 日 時:令和 3 年 6 月 21 日(月) Teams によるオンライン開催
演者 1: 胡 鑫 (RI 管理室)
演題 1: 5-アミノレブリン酸とクエン酸第一鉄ナトリウムによる免疫チェックポイント阻害薬の増強効果
演者 2: 平野 啓 (RI 管理室)
演題 2: 他家 NK 細胞移入療法のためのプラットフォーム開発を目指した取り組み
7. 日 時:令和 3 年 7 月 8 日(木) Teams によるオンライン開催
演者 1: 内山 徹 (疾患遺伝子構造研究室長、小児内科系専門診療部 併任医師)
演題 1: 遺伝子治療における APOBEC 3 によるプロウイルス変異
演者 2: 安田 徹
演題 2: ニーマンピック病 C 型における免疫系による神経変性制御

8. 日 時:令和3年8月5日(木) Teams によるオンライン開催

演者 1: 岡村 浩司 (システム発生・再生医学研究部 室長)

演題 1: 多様な個体間ゲノム塩基配列の差異から肝移植免疫応答を予測

演者 2: 長谷川 碧 (システム発生・再生医学研究部共同研究員、東京医科歯科大学修士課程1年)

演題 2: マウスの *Dlk1-Dio3* 領域の review と IG-DMR の研究結果について

9. 日 時:令和3年8月27日(金) Teams によるオンライン開催

演者 1: 宮戸 真美 (分子内分泌研究部 上級研究員)

演題 1: 体細胞から Y 染色体が喪失する

演者 2: 福井 由宇子 (分子内分泌研究部 特任研究員)

演題 2: モデル動物から明らかになった新規成長関連候補遺伝子

演者 3: 鏡 雅代 (分子内分泌研究部 臨床内分泌研究室 室長)

演題 3: ZNF445: multilocus imprinting disturbance と Temple 症候群を持つ症例で認めた世界初のホモ機能残存型変異

10. 日 時:令和3年9月2日(木) Teams によるオンライン開催

演者 1: 横溝 陵 (細胞医療研究部 共同研究員)

演題 1: 子宮内膜上皮及び間質による子宮内膜再生

演者 2: 阿久津 英憲 (生殖医療研究部長)

演題 2: ミニ腸 2.0 –マクロファージ内在化腸管オルガノイドの開発–

11. 日 時:令和3年10月7日(木) Teams によるオンライン開催

演者: 熊坂 夏彦 (エコチル調査研究部 遺伝子解析室チームリーダー)

演題: 自然免疫応答の遺伝子発現レベルにおける遺伝的多様性を単一細胞分解能で解析するための新たな統計手法の開発

12. 日 時:令和3年10月21日(木) Teams によるオンライン開催

演者 1: 松田 明生 (免疫アレルギー・感染研究部 炎症制御研究室長)

演題 1: 難治性川崎病に対する新しい治療薬開発を目指した取り組み

演者 2: 森田 英明 (免疫アレルギー・感染研究部 アレルギー研究室長)

演題 2: 乳児期を標的にしたアレルギー疾患発症予防法の開発

13. 日 時:令和3年11月8日(月) Teams によるオンライン開催

演者 1: 柳 久美子 (ゲノム医療研究部 研究員)

演題 1: ロングリード次世代シーケンスの臨床応用

演者 2: 加藤 和仁 (ゲノム医療研究部 室長)

演題 2: 新型コロナウイルス感染症と日本人集団の遺伝的背景

14. 日 時:令和3年11月25日(木) Teams によるオンライン開催

演 者: 森崎 菜穂 (社会医学研究部)

演 題: 成育医療分野の社会医学系課題への近年の取り組みについて

15. 日 時:令和3年12月17日(金) Teams によるオンライン開催
演者 1: 中村 和昭 (薬剤治療研究部)
演題 1: 創薬研究の基盤となる肝細胞の高機能化の取り組み
演者 2: 田中 理恵子 (薬剤治療研究部)
演題 2: ヒト幹細胞の接着性改善ー安定的な薬剤評価系の確立に向けてー
16. 日 時:令和4年1月13日(木) Teams によるオンライン開催
演者 1: 草野 晋平 (小児血液・腫瘍研究部 共同研究員)
演題 1: B 前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病における TCF3-ZNF384 融合蛋白の機能
演者 2: 大木 健太郎 (小児血液・腫瘍研究部 分子病理研究室 室長)
演題 2: 小児末梢性 T 細胞リンパ腫の網羅的遺伝子解析
17. 日 時:令和4年1月19日(水) Teams によるオンライン開催
演者 1: 青木 藍 (政策科学研究部 研究員)
演題 1: 子どもへの運動介入は学力向上につながるか? ~モンゴルにおけるクラスター無作為化比較試験
演者 2: バログン・オルクミ (政策科学研究部 研究員)
演題 2: アンゴラ共和国における母子健康手帳の効果に関するクラスター無作為化比較試験
18. 日 時:令和4年3月4日(金) Teams によるオンライン開催
演者 1: 大科 恭子 (周産期病態研究部 共同研究員)
演題 1: 慢性子宮内膜炎は治療する必要があるのか? : 着床障害の分子病態を探る
演者 2: 長谷川 慶太 (周産期病態研究部 共同研究員)
演題 2: 高効率な DNA メチル化キャプチャーシーケンス法の開発を目指して
19. 日 時:令和4年5月19日(木) Teams によるオンライン開催
演者 1: 三浦 茜 (成育遺伝研究部 研究員)
演題 1: X 連鎖高 IgM 症候群の T 細胞に対する CD40LG 遺伝子変異の標的遺伝子修復治療
演者 2: 安田 徹 (成育遺伝研究部 研究員)
演題 2: ニーマンピック病 C 型における免疫系による神経変性制御
20. 日 時:令和4年5月26日(木) Teams によるオンライン開催
演 者: 但馬 剛 (マススクリーニング研究室 室長)
演 題: 新生児マススクリーニング対象拡充に関する国内外の現状と我が国での選定基準策定の取り組みについて
21. 日 時:令和4年6月16日(木) Teams オンライン同時開催
演者 1: 岡村 浩司 (システム発生・再生医学研究部 室長)
演題 1: ヒトの全ゲノム塩基配列を読んでもみよう
演者 2: 小川 湧也 (システム発生・再生医学研究部 共同研究員)
演題 2: マウス性決定における Sox9 発現制御機構についての知見と研究成果報告

22. 日 時:令和 4 年 6 月 30 日(木) Teams によるオンライン開催
演者 1: 松原 圭子 (分子内分泌研究部 上級研究員)
演題 1: モバイルアプリを用いてリアルタイムで記録された日本人乳幼児におけるマイルストーン達成時期の分析
演者 2: 玉岡 哲 (分子内分泌研究部 共同研究員)
演題 2: 胆道閉鎖症における母性マイクロキメリズム
演者 3: 鳴海 覚志 (分子内分泌研究部 基礎内分泌研究室 室長)
演題 3: 甲状腺形成異常の GWAS
23. 日 時:令和 4 年 7 月 21 日(水) Teams によるオンライン開催
演者 1: 阿久津 英憲 (生殖医療研究部 部長)
演題 1: ミニ腸ストーリー～研究は続く, to infinity and beyond～
演者 2: Tiago Jose da Silva Lopes (細胞医療研究部 専門職)
演題 2: Unleashing the power of in silico protein design
24. 日 時:令和 4 年 9 月 2 日(金) Teams によるオンライン開催
演者 1: 齋藤 麻耶子 (エコチル調査研究部 医師研究員)
演題 1: 疫学研究における二次性徴評価方法の検討
演者 2: 宮地 裕美子 (エコチル調査研究部 医師研究員)
演題 2: 幼児期早期のエンドトキシン曝露と食物アレルギーの改善との関連
25. 日 時:令和 4 年 9 月 16 日(金) Teams によるオンライン開催
演 者: 野村 伊知郎 (好酸球性消化管疾患研究室 室長、アレルギーセンター併任医師)
演 題: 好酸球性消化管疾患、研究の進歩と今後の展望
26. 日 時:令和 4 年 10 月 17 日(月) Teams によるオンライン開催
演者 1: 松岡 諒 (免疫アレルギー・感染研究部 共同研究員)
演題 1: 好酸球性胃腸炎の病態解明: 新規自然免疫依存性病態マウスモデルの解析
演者 2: 杉山 弘樹 (免疫アレルギー・感染研究部 共同研究員)
演題 2: アトピー性皮膚炎の長期化・再活性化の原因を探る
演者 3: 本村 健一郎 (免疫アレルギー・感染研究部 流動研究員)
演題 3: 妊娠における自然免疫の役割の解明
27. 日 時:令和 4 年 11 月 1 日(火) Teams によるオンライン開催
演者 1: 竹原 健二 (政策科学研究部 部長)
演題 1: いま話題の男性育休は期待されたような効果があるのか?
演者 2: 山本 依志子 (政策科学研究部 研究員)
演題 2: 周産期・小児領域における医療経済分析
28. 日 時:令和 4 年 11 月 10 日(木) Teams によるオンライン開催
演 者: 大久保 祐輔 (社会医学研究部 臨床疫学・ヘルスサービス研究室 室長)
演 題: 医療ビッグデータの利活用と医療政策効果の分析手法

29. 日 時:令和 4 年 11 月 25 日(金) Teams によるオンライン開催

演者: パート 1 : エピシングナチャー 河合 智子 (周産期病態研究部 胎児発育研究室 室長)

パート 2 : エピバリエント 中林 一彦 (周産期病態研究部 周産期ゲノミクス研究室 室長)

演題: 希少疾患ゲノム診断率向上のためのエピゲノムアプローチ

30. 日 時:令和 4 年 12 月 8 日(木) Teams によるオンライン開催

演者 1: 田中 理恵子 (薬剤治療研究部・研究員)

演題 1: ヒト初代培養肝細胞の接着性改善と機能維持

演者 2: 原田 一貴 (薬剤治療研究部・共同研究員)

演題 2: アルギニンバソプレシンと消化管機能を介した代謝恒常性維持機構の解明

【特別セミナー】

1. 日 時:令和3年7月29日(木)

演 者: 三宅 紀子 先生

国立国際医療研究センター 疾患ゲノム研究部 部長

演 題: 単一遺伝子疾患における疾患遺伝子同定法の技術革新と今後の展望

紹介者: 深見 真紀(研究所副所長 分子内分泌研究部部長)

2. 日 時:令和3年9月15日(水)

演 者: 増田 喬子 先生

京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生免疫学分野・助教

演 題: iPS細胞由来再生細胞を他家移植で用いたときに起こりうる免疫反応とその制御法の開発

紹介者: 阿久津 英憲(再生医療センター・生殖医療研究部 部長)

3. 日 時:令和4年5月10日(火)

演 者: 吉井 聡 先生

イリノイ大学シカゴ校医学部解剖細胞生物学部門・准教授

演 題: Characterizing roles of Palmitoyl-protein Thioesterase 1 in Developmental Plasticity and CLN1 disease

紹介者: 梅澤 明弘(研究所所長 再生医療センター長)

4. 日 時:令和4年7月11日(月)

演 者: 金井 仁弘 先生

Broad Institute of MIT and Harvard/ Massachusetts General Hospital,
Postdoctoral Research Fellow

演 題: Fine-mapping complex traits in large-scale biobanks across diverse populations
(日)大規模バイオバンクを用いた多様な集団における疾患原因経路の同定

紹介者: 中林 一彦(周産期病態研究部室長)

5. 日 時:令和4年8月26日(金)

演 者: 藤岡 正人 先生

北里大学医学部 分子内分泌研究部遺伝学・主任教授

北里大学大学院 医療系研究科 分子病態学群 分子遺伝学・専任教授

演 題: 幹細胞技術を用いた内耳性難聴に対する治療法の開発

紹介者: 梅澤 明弘(研究所所長 再生医療センター長)

6. 日 時:令和4年12月5日(月)

演 者: 菊池 敦生 先生

東北大学大学院 医学系研究科 小児病態学分野・教授

演 題: 小児新規疾患概念の確立

紹介者: 松原 洋一(国立成育医療研究センター理事)

【研究発表会】

1. 日 時:令和3年12月24日(金) 13:00~15:00

第一部(13:00~13:55) 座長 上野 瞳/宮本 義孝

①演者:森脇 かおり(好酸球性消化管疾患研究室)

演題:レインボーッキングで好酸球性胃腸炎を美味しく治す!

②演者:伊藤 愛主(データサイエンス研修チーム/再生医療センター)

演題:ネットワーク速度調査のビックデータを支えたデータベースサーバ

③演者:Olukunmi Balogun (Department of Health Policy/政策科学研究部)

演題:Impact evaluation of the Maternal and Child Health Handbook in Angola
- a cluster randomized controlled study.

④演者:近藤 天之(社会医学研究部)

演題:生活実態調査を用いた小・中学生の抑うつに関する分析
- 学校生活と子どもの抑うつとの関連に注目して

⑤演者:五十嵐 ありさ(ゲノム医療研究部)

演題:間接動脈石灰化(CALJA)の原因遺伝子NT5Eのバリエーションとその酵素活性に及ぼす影響

第二部(14:00~14:55) 座長 宮本 幸/森田 英明

⑥演者:張 若谷(分子内分泌研究部)

演題:キメラ遺伝子が原因となった巨人症の1例

⑦演者:谷口 公介(周産期病態研究部)

演題:エピトランスクリプトームの世界 - ヒト胎盤におけるmRNAメチル化修飾の重要性

⑧演者:松岡 諒(免疫アレルギー・感染研究部)

演題:好酸球性胃腸炎の病態解明:新規病態:マウスモデルの確立

⑨演者:草野 晋平(小児血液・腫瘍研究部)

演題:TCF3-ZNF384 fusion protein up-regulates CCND2 gene expression and induces steroid resistance in B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia cells.

⑩演者:矢島 広大(免疫アレルギー・感染研究部 母児感染研究部)

演題:受精と感染との接点:受精における重要因子(CD9, マイクロエクソソーム)は、
サイトメガロウイルス感染に影響を及ぼすか?

<発表詳細>

- ・日 時:12月24日(金) 第一部13:00~13:55、第二部14:00~14:55
- ・場 所:研究所 セミナールーム (発表者のみ) / Teamsによるオンライン開催
- ・発表形式:パワーポイントによるプレゼンテーション
- ・発表時間:6分 ・質疑応答:3分

<優秀演題賞>

- ・2題選出。

2. 日 時:令和4年12月19日(月) 14:00~16:00

第一部(14:00~15:00) 座長 谷口 公介/帯包 エリカ

①演者:森田 和機(生殖医療研究部 東京医科歯科大学)

演題:NOTCH/DOTIL阻害による大気圧酸素濃度における効率的なRNAリプログラミングに関する研究

②演者:山村 倫啓(周産期病態研究部)

演題:生殖補助医療(assisted reproductive technology:ART)で出生した児に観察される

epigenetic discordancy の検証

③演者：田中 久子（社会医学研究部）

演題：世田谷区小児生活習慣病予防検診に関する研究

④演者：Bibha Dhungel （政策科学研究部）

演題：Association of paternal factors with mothers' employment post-childbirth

Bibha Dhungel

第二部（15：00～16：00）座長 本村 健一郎/秋葉 和壽

⑤演者：杉山 弘樹（免疫アレルギー・感染研究部）

演題：アトピー性皮膚炎はなぜしつこい？～免疫学で審理に迫れ！

⑥演者：秋葉 和壽（分子内分泌研究部）

演題：深部イントロへの挑戦！POU1F1 バリエーションを用いた多階層機能解析

⑦演者：MA K U A I （R I 研究室）

演題：Combinations of paternal anti-GITR antibody and CD28 superagonist generated Type1

⑧演者：谷口 公介（周産期病態研究部）

演題：妊婦の連続生体データを用いた陣痛予測モデル構築へ向けて

<発表詳細>

- ・日 時：12月19日（月） 第一部 14:00～15:00、第二部 15:00～16:00
- ・場 所：研究所 セミナールーム （発表者のみ） / Teams によるオンライン開催
- ・発表形式：パワーポイントによるプレゼンテーション
- ・発表時間：6分 ・質疑応答：3分

<優秀演題賞>

- ・2題選出。

セミナー・庶務係
中林・森田・但馬